

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	デイサービスセンター和々		
○保護者評価実施期間	R6年 12月 1日		～ R6年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	R7年 1月 4日		～ R7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	共生型サービスであるため、世代をこえての交流が図れる。	長期休暇では、子どもと高齢者等が多く関わるため、ゲームや体操等、一緒に取り組める活動を提供している。	児童と高齢者が協力し合い過ごしていく環境設定を引き続き行っていき、思いやりや社会的マナーを身につけるように取り組む。
2	看護師が在籍しており、医療的処置や医療的ケアを継続して受けることができ、安心して過ごせる。	保育士や看護師等の支援のもと、療育やリハビリをおこなっている。また、医師の指示書に基づき、安心な医療的ケアを提供している。	学校や家庭、他事業所と連携して、情報共有を行い、医療的ケア児の受け入れ体制を整え、積極的な医療的ケア児の受け入れをはかる。
3	理学療法士、作業療法士が在籍、児童一人ひとりに応じて、機能訓練や指導を行っている。 職員に対しては、専門的知見からのアドバイスや研修を行っている。	療法士から個別訓練メニューの指示や助言を受け、保育士等が毎日の活動の中でも取り入れている。	保育士や児童指導員への支援方法のアドバイスの他、保護者へも支援方法や日常生活動作関連のアドバイスを行って関係づくりをしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	状況によっては広い1つのデイルームだけでは、過ごしにくい時がある。	騒がしい環境が苦手なご利用者が過ごす場所、児童が興奮した時に個室対応が必要な時がある。	相談室や和室と活動スペースを分けたり、ついたて等を使用して個別の空間を作っていく。
2	保護者同士の連携や保護者会の活動の支援	保護者懇談会を計画するが、参加希望者が少ない。	懇談会だけでなく、研修や行事等を計画して、保護者同士の交流の機会をつくる。
3	障がいのない子どもとの活動の機会が少ない。	高齢者、障がい者と幅広い世代との交流は行っているが、外部との交流が、コロナ流行期より少なくなっていた。	事業所で交流会の計画や、交流の場への外出を行っていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 共生型デイサービスセンター和々 放課後等デイサービス

公表日 年月日 令和7年2月28日

利用児童数 年月日 令和7年2月7日10名 (9家族)

回収数 9枚

	チェック項目	回答割合				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	89%	11%	0%	0%		国の設置基準を満たし、集団活動や個別支援を行える空間となっています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	89%	11%	0%	0%		国の人員配置基準に加え、加算要件を満たす人員配置を行っています。保育士、PT・OT、看護師が配置されています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	89%	11%	0%	0%		事業所内、外ともにバリアフリーになっており車椅子やバギーでのご利用が可能です。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	56%	11%	0%	11%	無回答22%	消毒や清掃を行い感染症対策、清潔に努めています。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	67%	11%	0%	0%	無回答22%	子どもの一人ひとりの特性や成長・発達、保護者を含めたニーズを把握し支援計画を作成しています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	67%	11%	0%	0%	無回答22%	児童発達支援ガイドラインの児童発達支援の内容に則し作成しています。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	78%	22%	0%	0%		子どもの一人ひとりの特性や成長・発達や保護者を含めたニーズを把握し、支援計画を作成しています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	67%	11%	0%	0%	無回答22%	5領域の各項目内容を含めた個別支援計画を作成しています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	78%	0%	0%	0%	無回答22%	個別支援計画に基づいた支援を行うために活動設定やミーティング等で周知しています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	78%	22%	0%	0%		戸外活動の機会を増やすなど子どもの意見を取り入れながら固定化しないためのプログラム作成に努めます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	33%	56%	11%	0%		交流する機会を設けています。今後も地域交流の機会を取り入れていきたいと思っています。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	78%	22%	0%	0%		重要事項説明書、契約書を使用し説明しています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	78%	0%	0%	22%		個人面談にてご説明させて頂いています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	33%	44%	0%	0%	無回答22% 参加したことがないのでわからない。	一年に一回保護者会を設定していますが実施できていません。開催日時や内容など今後の検討課題です。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	67%	33%	0%	0%	頑張ってくれていると思うが以前より手薄。	日々の連絡帳や送迎の際に情報共有を行い、共通理解が図れるように努めていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	67%	11%	22%	0%	手帳以外のやりとりがない。 不便ではないか良いのか疑問。	半年に1回モニタリングを実施しています。気になることや相談等がありましたら随時、面談を行います。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	78%	0%	0%	0%	無回答22%	日頃から共感的な関わりのなかで児童やご家族の方に安心して過ごして頂けるように今後も努めます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	44%	33%	22%	0%	参加できていない。	きょうだい支援や研修会の実施等、不十分な点もあるため、今後の検討課題とさせていただきます。
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	67%	33%	0%	0%		苦情や相談等の窓口については重要事項説明書に記載された通り、担当窓口を設置しています。迅速かつ適切な対応を心がけています。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	67%	33%	0%	0%	連絡帳や面談での情報共有や緊急時には電話でお伝えできるようにしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	67%	22%	11%	0%	毎月、月間プログラムをお配りしています。自己評価の結果は書面や法人内のホームページで公表しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	78%	22%	0%	0%	個人情報の取り扱いについては職員間で注意喚起を行い、今後も十分注意していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	78%	22%	0%	0%	各種マニュアルを作成しています。定期的に研修や訓練を計画を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	67%	33%	0%	0%	児童も参加し、BCPに沿った研修や訓練を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	78%	0%	0%	0%	無回答22% 安全計画に基づき怪我や感染症などに対応しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	78%	0%	0%	0%	無回答22% 安全計画に基づき対応しています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	78%	0%	0%	0%	無回答22% 困りごとや思いを汲み取りながら安心して過ごせるように努めます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	78%	22%	0%	0%	広い空間なので楽しい。 機能訓練室などの広い空間があり室内で体を動かす十分なスペースもあります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	78%	22%	0%	0%	今後もご利用児童の皆さんが楽しく安心して過ごすことができるよう活動設定や環境調整をしていきたいと思っています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		デイサービスセンター和々				公表日	R7年 2月 28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		広いデイルームの他、和室のスペースや機能訓練室を備えています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		配置基準どりの職員を配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		段差はなく、扉は自動ドアで大きく、車椅子のご利用者も利用しやすくなっています。身障用も完備しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日、朝と夕方に清掃を行っています。デイルームは広く、活動に応じて環境を整えています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室（相談室）があり、要望があれば、使用していただいています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎月1回の会議の中で、目標の確認や振り返りの機会を設けています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		サービスマナー等、保護者にアンケートを実施し業務の改善につなげています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月1回の会議の中で、事例について話し合い支援の改善に努めている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による外部評価は実施していないが、保護者アンケート等で、指摘があった所は早急に改善を行っています。	保護者アンケートや自己評価の内容を、事業所全体で分析や共有をして改善を図っていききたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内や事業所内で研修を計画し、研修に参加しています。また、研修会の情報提供も行っています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○	今年度支援プログラムを作成しました。	今後、公表する予定です。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		適切にアセスメントを行い、ご利用者、保護者のニーズや課題を分析し、放課後等デイサービスを作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		放課後等デイサービス計画作成前に、関係職員等で会議を行い、支援の方向性を決めていきます。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		月1回の会議にて、本人の状況報告と、計画に沿った支援の確認を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		行動や特性を標準化されたアセスメントツールで確認し、日々の行動からもアセスメントを行っています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児童の年齢に応じて必要な支援を項目毎にねらいを設定し、具体的な内容で支援していきます。	本人、保護者、支援する職員が理解し、具体的な支援ができるよう、見直しを継続していきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		保育士が主となって作成、作業療法士や理学療法士、看護師等の意見を参考にしながらプログラムを作成しています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		5つの領域を取り入れた活動、季節感のある活動を工夫しています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別での療育、集団での療育を組み合わせ、作成、支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		前日や朝のミーティング時に打ち合わせを行い、支援が安全かつスムーズに行われるよう確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎終了後や次回の利用までに、職員間で振り返りを行い次の支援にいかせるよう努めています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		放課後等デイサービス計画に基づいた記録、日々のご本人の状態について記録をしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6ヶ月に1回、定期的にモニタリングを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		自立支援、多様な遊びや体験、地域交流、主体的な参画を交えながら活動を計画し支援しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自分で決めて実行する機会を設けています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者や保育士が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		医師の指示書に基づいた支援、支援学校や相談支援事業所と連携を取り支援をしています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		ご家族、学校より下校時刻予定や行事等の連絡をいただいています。緊急時にはすぐに連絡対応を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		相談支援事業所を通して、過去に利用していた事業所等の情報共有を図っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		相談支援事業所を通して、支援内容の情報共有を図っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		必要に応じて、発達障害者支援専門員や言語聴覚士等の助言や研修を受けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		長期休暇に児童館へ行き、地域の児童と一緒に児童館の活動に参加しました。	令和7年度は地域の放課後等児童クラブと冬休みに交流する計画をしています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		宇佐市自立支援協議会、専門部会（こども支援部会）に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎やお迎えの際に、保護者へ近況やその日の様子を伝え、共通理解を図っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレントトレーニングは実施していませんが、随時相談に応じながら助言しています。	ペアレントトレーニング等、児童発達支援センターや自治体で実施している研修の情報を得て提供していきます。
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		重要事項説明等、利用契約時に行っています。保護者より質問があった場合は、適宜対応を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者の意向、ご本人の意向を確認します。本人の意思を尊重し、意思が反映された計画作成に努めています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		保護者に説明し、同意の署名をいただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		都度、相談に応じています。	必要な助言や面談等も行っていきます。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	年に1回保護者懇談会を計画しています。	保護者懇談会を計画していますが、参加者が少ないため、交流する機会の場とはなっていません。皆様に参加していただけるよう懇談会の内容や日時を検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	苦情解決委員を選任しています。苦情があった場合は真摯に受け止め、迅速かつ丁寧に対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	行事や活動内容を定期的にホームページにて発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	マニュアルに沿って、適切に取り扱っています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	一人ひとりに合わせて、コミュニケーション手段を配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	地域との懇談会や地区の保育園、小学校との交流会を実施しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	マニュアルを策定し、職員には周知しています。保護者への周知は保護者懇談会で説明します。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	業務継続計画を策定し、定期的に訓練を行っています。	すべての児童が訓練に参加はできるよう、曜日等の検討が今後必要です。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○	契約時に保護者と情報共有を行い、安全に対応ができるよう配慮しています。	全ての職員が発作や服薬の状況を確認できるよう、ご利用者情報がすぐに理解でき、引き継がれていくよう体制を整えます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	契約時に保護者と情報共有を行い、安全に対応ができるよう、医師の指示書を確認しています。	全ての職員がアレルギー情報を確認できるよう、ご利用者情報がすぐに理解でき、引き継がれていくよう体制を整えます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画を作成し、訓練や研修を実施し、チェック表等を用いて、安全点検を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	今後、安全計画の内容は懇談会にて周知をしていく予定です。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	リスクマネジメント委員会で検証し、毎月の会議で報告しています。また、全職員が事例を確認できるようにしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	虐待防止研修会に全職員が参加しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	放課後等デイサービス計画に記載する他、保護者に説明し同意を得て対応しています。		